

様式第7号

議長	副議長	局長	次長	係長	

行政視察報告書

令和5年3月31日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 天野喜一郎 議員 大月隆司
議員 森岡聡子 議員 桑田昌哲
議員 仁科文秀 議員 栗尾典子

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

行程 令和5年3月27日(月) 14:00～15:30 荒川区立ゆいの森あらかわ
(荒川区荒川町2丁目50番1号 03-3891-4349)

28日(火) 8:30～9:00 靖国神社正式参拝
9:00～10:00 遊就館拝観
(千代田区九段北3-1-1 03-3261-8326)

10:30～12:00 国会見学
12:00～13:00 厚労省大臣室にて加藤大臣との会食と意見交換
(千代田区霞が関1-2-2 03-5253-1111)

13:00～13:30 自民党本部見学
(千代田区永田町1丁目11-23)

14:00～15:30 迎賓館見学
(港区元赤坂2丁目1番1号 03-3478-1111)

29日(水) 10:00～11:30 港区伝統文化交流館
(港区芝浦1丁目11番15号 03-3455-8451)

視察案件	子育て支援～複合施設と再生施設～ 大臣との面会による意見交換
期日	令和5年3月27日(月)～3月29日(水)
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	荒川区立ゆいの森あらかわ、靖国神社、遊就館、国会議事堂、自民党本部 ----- 迎賓館、港区伝統文化交流館
概 要	<p><視察目的> 岸田政権が異次元の少子化対策として様々な施策を打とうとしている中、笠岡市においても再び子育てステーションの整備、誕生日祝い事業や小学校の制服補助金などの予算が提出された。笠岡市の少子化対策には何が必要なのかを考えるための参考とする。また、子育てとアフターコロナについて大臣との意見交換を行う。</p> <hr/> <p>●荒川区立ゆいの森あらかわ 平成21年の用地確保から平成29年竣工に至るまでの間、行政と議会がしっかりとタッグを組み縦割り行政ではなく、これまでになかった施設にするための話し合いをしつくり上げてきたことの説明があった。実際館内は「図書館」「文学記念館」「子供の広場」などがすべてゆいの森課に所属し、全ての業務を所管している。市の様々な事業（例えば税務相談など）とも連携をとり、直営ならではの事業を展開している。「子供の広場」では保育士の見守る中親子で遊ぶことができ、保育士に子育て相談が行われている。また、その隣に有料の乳幼児一時預かりもあり、館内での読書や喫茶利用による子育ての息抜きや効率の良い仕事を行うために利用する方も多いという。荒川区では区内で新生児は年間1800人生まれる。笠岡市の10倍であるが「子供の広場」の利用者は限られたスペースで充分であるという印象を持った。</p> <hr/> <p>●国会見学、大臣との意見交換会 参議院での予算審査中であつた。まさに国がここで動いているということを改めて実感した。主権者教育向上のためには、国会も含めて議場やその現場を見せることが重要ではないかと改めて考えさせられた。 大臣は非常に多忙を極め活躍されている中、会談時間をもって頂いた。少子化については内閣府特別担当に移るが福祉に関わる部分では変わらず厚労省が管轄することになるとの説明があつた。</p> <hr/> <p>●港区立伝統文化交流館 昭和11年に建築された「旧協働会館」（港区指定有形文化財）を令和2年に保存整備され「伝統文化交流館」として会館されたもの。日本舞踊や落語など様々なイベントでの貸館が行われている。それ以外に、昼の間と福祉団体による喫茶が人気で近隣の子育て世代が多く利用する。 曳家をしており、雨漏り等で傷んだ箇所の修復、見栄えを崩さない耐震施工などかなりの工夫がみてとれた。マンションの立ち並ぶ中での木造建築であるが、有効に利用されており、まちの歴史を遺すだけでなく、継承すべき建物であると感じた。</p>